

## 目標設定の考え方

### ○ 目標設定の基本的な考え

- ・ 将来推計（単純推計※）と国の基本方針で示された削減目標の考え等を比較検討し、適切な目標を設定する。
- ・ 現計画の目標達成が困難なものについては、現状を十分に踏まえ検討する。

※単純推計：各種トレンド（ごみ排出量、産業活動量等）を基に、現行の施策を継続することを前提とし将来を推計したものの。

#### 【一般廃棄物】

	単純推計	国の基本方針に即した場合	目標の方向性
処理しなければならないごみの一人一日当たりの量	減少傾向	減少傾向	単純推計の方が、減少傾向の程度が大きいため、単純推計をベースに、現状より減少させる方向で目標を検討する。
再生利用率	現状維持	増加傾向	国の基本方針に即した方が、再生利用率は高いため、基本方針を参考に、現状よりも再生利用率を高める方向で目標を検討する。
最終処分量	減少傾向	減少傾向	国の基本方針に即した方が、最終処分量がより少ないため、基本方針を参考に、現状よりも最終処分量を減らす方向で目標を検討する。

〔削減等が見込める要因〕 3R のさらなる浸透・定着（生ごみの水切り等の徹底、廃棄食品等の削減）、家庭ごみ処理の有料化（導入された場合）など

#### 【産業廃棄物】

	単純推計	国の基本方針に即した場合	目標の方向性
排出量	増加傾向	増加傾向	単純推計の方が、増加傾向の程度が緩やかであるため、単純推計をベースに、排出量の増加をより抑える方向で目標を検討する。
再生利用率	現状維持	（県の再生利用率が上回っているため、県の現状値を採用）	本県の再生利用率は現状で高いレベルにあるため、現状維持を基本に目標を検討する。
最終処分量	排出量の増に伴い増加傾向	減少傾向	国の基本方針に即した方が、最終処分量が少ないため、基本方針を参考に、現状よりも最終処分量を減らす方向で目標を検討する。

〔削減等が見込める要因〕 事業者のさらなる 3R の取組（多量排出事業者の処理計画公表による自主的取組の促進、産業廃棄物税による引き続きの抑制効果など）

【参考】国の基本方針における減量化目標（目標年度は平成 27 年度）

	一般廃棄物	産業廃棄物
排出量	平成 19 年度に対し、約 5%削減する。	平成 19 年度に対し増加を約 1%に抑制する。
再生利用率	約 20%から約 25%に増加させる。	約 52%から約 53%に増加させる。
最終処分量	平成 19 年度に対し、約 22%削減する。	平成 19 年度に対し、約 12%削減する。

# 一般廃棄物及び産業廃棄物の発生量等の将来予測について

## 一般廃棄物に関する予測結果

### 1 単純推計による予測結果

異常年の可能性がある平成21年度のデータを除外した上で一般廃棄物の排出原単位（一人あたりの排出量）の経年変化を基に予測を行ったところ、ごみ総排出量は減少傾向を示し、平成28年度のごみ総排出量は2,602千トン（平成21年度から2.5%減少）、平成32年度のごみ総排出量は2,515千トン（同5.8%減少）と予測された。

処理状況については、ごみ総排出量の減少に伴って、減量化量、再生利用量、最終処分量とも減少傾向を示すと予測された。

一人一日あたりのごみの量及び処理しなければならないごみの一人一日あたりの量についても同様に減少傾向を示す結果となった。

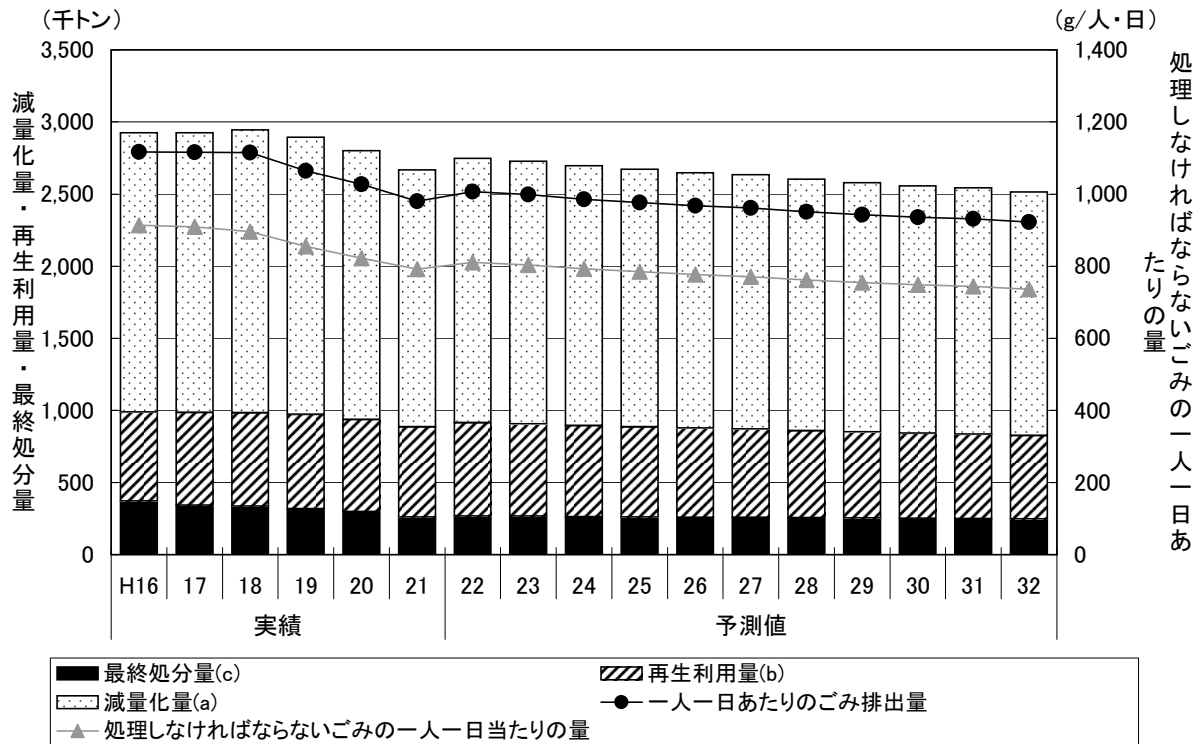


図 ごみの総排出量と最終処分量の推移

表 ごみの総排出量と最終処分量の推移

	人口	ごみ総排出量 (a+b+c)		処理しなければならないごみの量		減量化量(a)	再生利用量(b)	最終処分量(c)	
		人	千トン	一人一日あたり g/人日	千トン				一人一日あたり g/人日
実績	H16	7,156,450	2,926 (109.6%)	1,117 (114.0%)	2,392 (111.0%)	913 (115.4%)	1,939 (108.8%)	616 (98.2%)	371 (143.4%)
	17	7,181,498	2,925 (109.6%)	1,116 (113.8%)	2,382 (110.6%)	909 (114.8%)	1,939 (108.8%)	644 (102.6%)	342 (132.1%)
	18	7,238,177	2,945 (110.4%)	1,115 (113.7%)	2,366 (109.8%)	895 (113.1%)	1,962 (110.1%)	649 (103.5%)	334 (129.1%)
	19	7,428,977	2,895 (108.5%)	1,065 (108.6%)	2,324 (107.8%)	855 (108.0%)	1,924 (107.9%)	655 (104.4%)	316 (122.3%)
	20	7,475,209	2,801 (105.0%)	1,027 (104.7%)	2,243 (104.1%)	822 (103.9%)	1,865 (104.6%)	638 (101.7%)	298 (115.3%)
	21	<b>7,458,643</b>	<b>2,669 (100.0%)</b>	<b>980 (100.0%)</b>	<b>2,155 (100.0%)</b>	<b>792 (100.0%)</b>	<b>1,782 (100.0%)</b>	<b>628 (100.0%)</b>	<b>259 (100.0%)</b>
予測値	22	7,481,564	2,748 (103.0%)	1,006 (102.7%)	2,214 (102.7%)	811 (102.4%)	1,834 (102.9%)	647 (103.1%)	267 (103.2%)
	23	7,486,636	2,729 (102.2%)	999 (101.9%)	2,196 (101.9%)	804 (101.5%)	1,822 (102.2%)	641 (102.1%)	265 (102.6%)
	24	7,491,736	2,696 (101.0%)	986 (100.6%)	2,168 (100.6%)	793 (100.1%)	1,801 (101.1%)	632 (100.7%)	263 (101.5%)
	25	7,496,867	2,671 (100.1%)	976 (99.6%)	2,146 (99.6%)	784 (99.1%)	1,786 (100.2%)	624 (99.5%)	260 (100.7%)
	26	7,502,026	2,649 (99.3%)	967 (98.7%)	2,126 (98.7%)	776 (98.1%)	1,772 (99.4%)	618 (98.4%)	258 (99.9%)
	27	7,507,214	2,634 (98.7%)	961 (98.1%)	2,113 (98.0%)	771 (97.4%)	1,764 (99.0%)	613 (97.7%)	257 (99.5%)
	28	<b>7,500,286</b>	<b>2,602 (97.5%)</b>	<b>951 (97.0%)</b>	<b>2,085 (96.8%)</b>	<b>762 (96.2%)</b>	<b>1,744 (97.8%)</b>	<b>604 (96.2%)</b>	<b>255 (98.4%)</b>
	29	7,493,392	2,579 (96.6%)	943 (96.2%)	2,065 (95.8%)	755 (95.4%)	1,729 (97.0%)	597 (95.2%)	253 (97.6%)
	30	7,486,528	2,557 (95.8%)	936 (95.5%)	2,045 (94.9%)	748 (94.6%)	1,716 (96.3%)	590 (94.1%)	251 (96.9%)
	31	7,479,695	2,542 (95.3%)	931 (95.0%)	2,032 (94.3%)	744 (94.0%)	1,707 (95.8%)	586 (93.3%)	249 (96.5%)
	32	<b>7,472,895</b>	<b>2,515 (94.2%)</b>	<b>922 (94.1%)</b>	<b>2,008 (93.2%)</b>	<b>736 (93.0%)</b>	<b>1,690 (94.8%)</b>	<b>578 (92.1%)</b>	<b>247 (95.5%)</b>

注:「処理しなければならないごみの量」とは、「ごみ総排出量」から「資源ごみ量」及び「集団回収量」を除いた値をいう。

## 2 市町村処理計画による予測結果

各市町村の一般廃棄物処理計画を基に予測を行ったところ、ごみ総排出量は全体としては平成21年度実績よりも多いレベルにあるものの減少傾向を示し、28年度のごみ総排出量は2,908千トン(21年度からは9.0%増加)、32年度のごみ総排出量は2,877千トン(同7.8%増加)と予測された。

処理状況のうち再生利用量は増加傾向、減量化量及び最終処分量は減少傾向を示した。

一人一日あたりのごみの量及び処理しなければならないごみの一人一日あたりの量についても同様に減少傾向を示す結果となった。

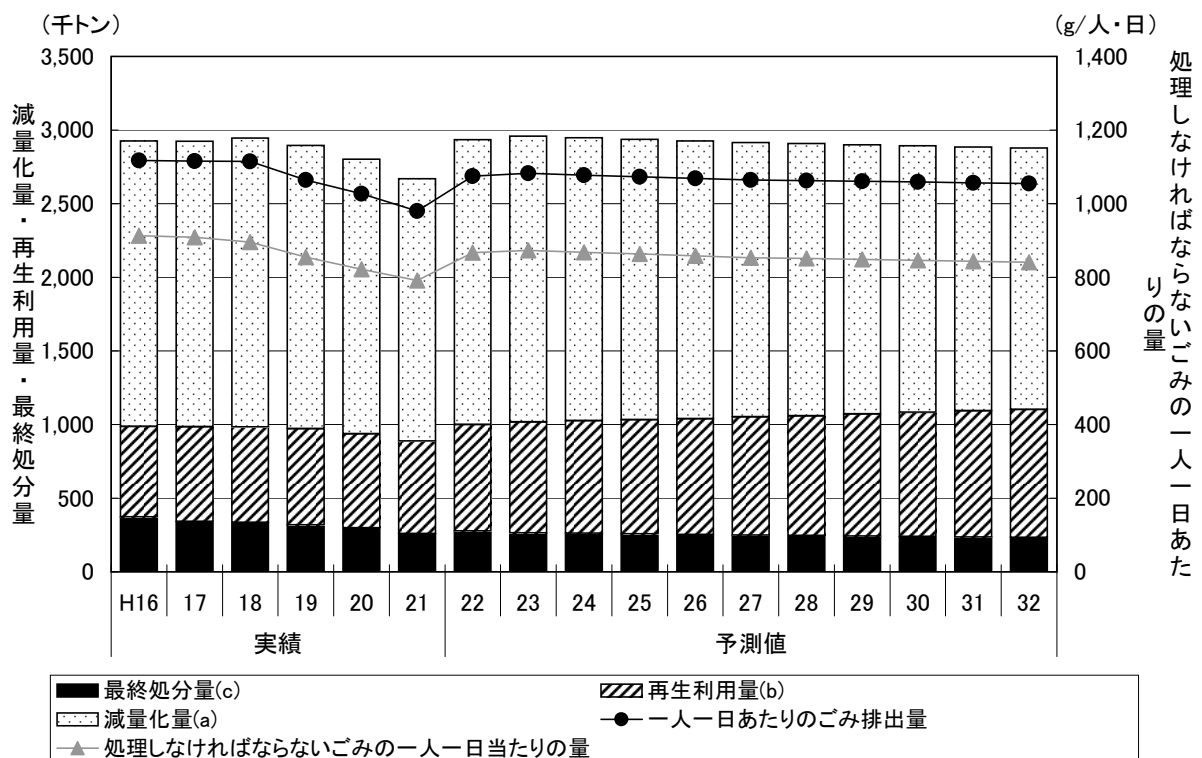


図 ごみの総排出量と最終処分量の推移

表 ごみの総排出量と最終処分量の推移

	人口 人	ごみ総排出量 (a+b+c)		処理しなければならないごみの量		減量化量(a) 千トン	再生利用量(b) 千トン	最終処分量(c) 千トン	
		千トン	一人一日あたり g/人日	千トン	一人一日あたり g/人日				
実績	H16	7,156,450	2,926 (109.6%)	1,117 (114.0%)	2,392 (111.0%)	913 (115.4%)	1,939 (108.8%)	616 (98.2%)	371 (143.4%)
	17	7,181,498	2,925 (109.6%)	1,116 (113.8%)	2,382 (110.6%)	909 (114.8%)	1,939 (108.8%)	644 (102.6%)	342 (132.1%)
	18	7,238,177	2,945 (110.4%)	1,115 (113.7%)	2,366 (109.8%)	895 (113.1%)	1,962 (110.1%)	649 (103.5%)	334 (129.1%)
	19	7,428,977	2,895 (108.5%)	1,065 (108.6%)	2,324 (107.8%)	855 (108.0%)	1,924 (107.9%)	655 (104.4%)	316 (122.3%)
	20	7,475,209	2,801 (105.0%)	1,027 (104.7%)	2,243 (104.1%)	822 (103.9%)	1,865 (104.6%)	638 (101.7%)	298 (115.3%)
	21	<b>7,458,643</b>	<b>2,669 (100.0%)</b>	<b>980 (100.0%)</b>	<b>2,155 (100.0%)</b>	<b>792 (100.0%)</b>	<b>1,782 (100.0%)</b>	<b>628 (100.0%)</b>	<b>259 (100.0%)</b>
予測値	22	7,481,564	2,935 (110.0%)	1,075 (109.7%)	2,367 (109.8%)	867 (109.5%)	1,934 (108.5%)	724 (115.4%)	276 (106.9%)
	23	7,486,636	2,958 (110.9%)	1,083 (110.4%)	2,385 (110.7%)	873 (110.3%)	1,940 (108.9%)	754 (120.2%)	263 (101.8%)
	24	7,491,736	2,947 (110.4%)	1,078 (110.0%)	2,374 (110.2%)	868 (109.7%)	1,922 (107.8%)	765 (121.9%)	260 (100.5%)
	25	7,496,867	2,936 (110.0%)	1,073 (109.5%)	2,362 (109.6%)	863 (109.0%)	1,904 (106.8%)	776 (123.7%)	256 (99.1%)
	26	7,502,026	2,926 (109.6%)	1,068 (109.0%)	2,350 (109.1%)	858 (108.4%)	1,886 (105.8%)	787 (125.5%)	252 (97.6%)
	27	7,507,214	2,916 (109.3%)	1,064 (108.6%)	2,338 (108.5%)	853 (107.8%)	1,863 (104.5%)	805 (128.3%)	247 (95.6%)
	28	<b>7,500,286</b>	<b>2,908 (109.0%)</b>	<b>1,062 (108.4%)</b>	<b>2,330 (108.1%)</b>	<b>851 (107.5%)</b>	<b>1,849 (103.7%)</b>	<b>813 (129.6%)</b>	<b>246 (95.0%)</b>
	29	7,493,392	2,901 (108.7%)	1,061 (108.2%)	2,322 (107.7%)	849 (107.2%)	1,829 (102.6%)	830 (132.2%)	242 (93.6%)
	30	7,486,528	2,893 (108.4%)	1,059 (108.0%)	2,313 (107.3%)	846 (106.9%)	1,811 (101.6%)	843 (134.4%)	239 (92.4%)
	31	7,479,695	2,885 (108.1%)	1,057 (107.8%)	2,302 (106.8%)	843 (106.5%)	1,792 (100.6%)	857 (136.6%)	236 (91.1%)
	32	<b>7,472,895</b>	<b>2,877 (107.8%)</b>	<b>1,055 (107.6%)</b>	<b>2,294 (106.4%)</b>	<b>841 (106.2%)</b>	<b>1,774 (99.5%)</b>	<b>871 (138.7%)</b>	<b>232 (89.9%)</b>

注:「処理しなければならないごみの量」とは、「ごみ総排出量」から「資源ごみ量」及び「集団回収量」を除いた値をいう。

### 3 国の基本方針に基づく予測結果

異常年の可能性がある平成21年度のデータを除外した上で国の基本方針に従って予測を行ったところ、ごみ総排出量は全体としては平成21年度実績よりも多いレベルにあるものの減少傾向を示し、28年度のごみ総排出量は2,732千トン(21年度からは2.4%増加)、32年度のごみ総排出量は2,660千トン(同0.3%減少)と予測された。

処理状況のうち再生利用量は増加傾向、減量化量及び最終処分量は減少傾向を示した。

一人一日あたりのごみの量及び処理しなければならないごみの一人一日あたりの量についても減少傾向を示す結果となった。

【参考】国の基本方針の目標値(平成27年度)

排出量	平成19年度比約5%削減
再生利用率	排出量の約25%
最終処分量	平成19年度比約22%削減

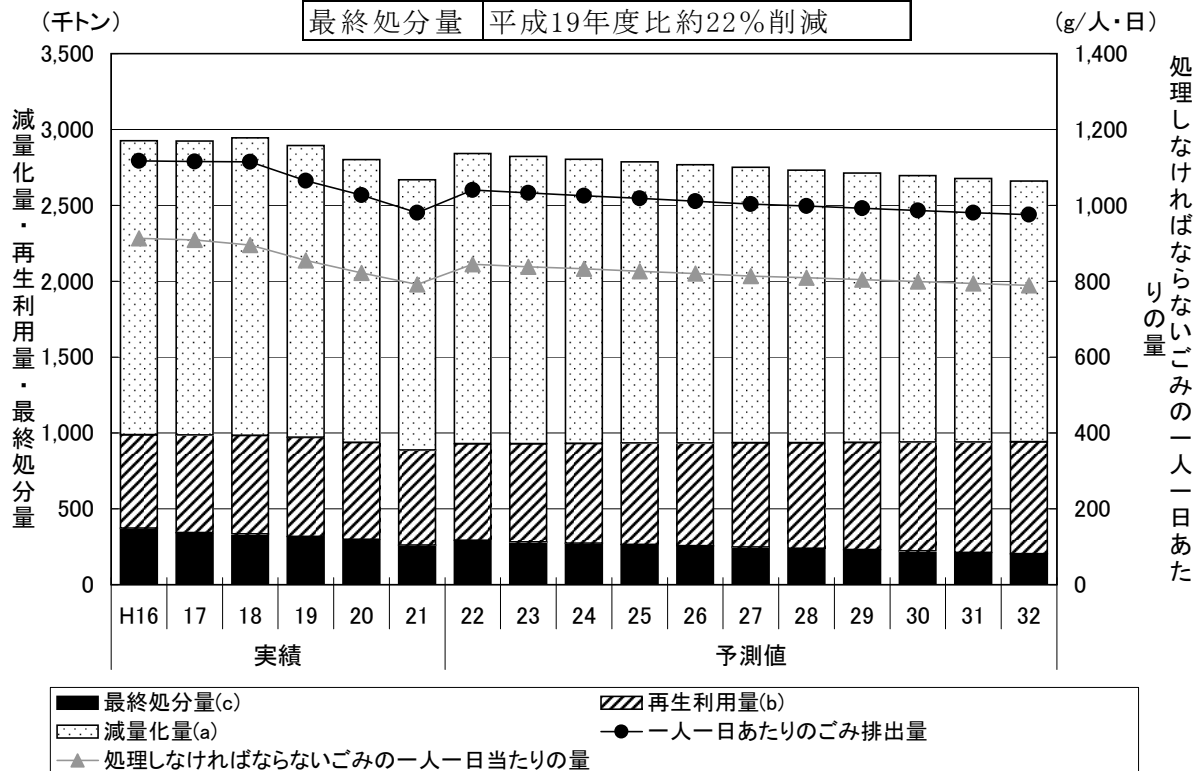


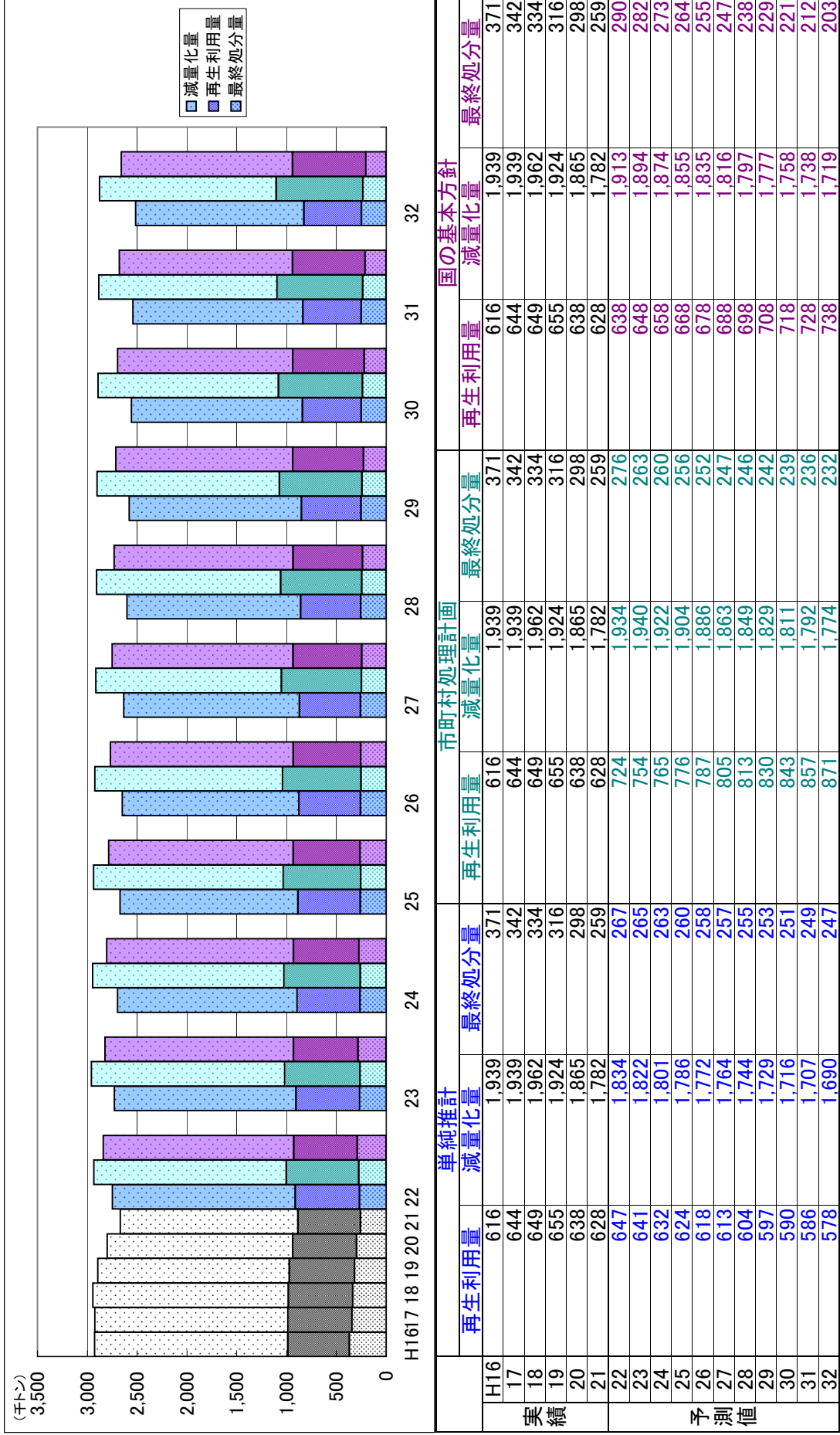
図 ごみの総排出量と最終処分量の推移

表 ごみの総排出量と最終処分量の推移

	人口	ごみ総排出量(a+b+c)		処理しなければならないごみの量		減量化量(a)	再生利用量(b)	最終処分量(c)	
		千トン	一人一日あたり g/人日	千トン	一人一日あたり g/人日				
実績	H16	7,156,450	2,926 (109.6%)	1,117 (114.0%)	2,392 (111.0%)	913 (115.4%)	1,939 (108.8%)	616 (98.2%)	371 (143.4%)
	17	7,181,498	2,925 (109.6%)	1,116 (113.8%)	2,382 (110.6%)	909 (114.8%)	1,939 (108.8%)	644 (102.6%)	342 (132.1%)
	18	7,238,177	2,945 (110.4%)	1,115 (113.7%)	2,366 (109.8%)	895 (113.1%)	1,962 (110.1%)	649 (103.5%)	334 (129.1%)
	19	7,428,977	2,895 (108.5%)	1,065 (108.6%)	2,324 (107.8%)	855 (108.0%)	1,924 (107.9%)	655 (104.4%)	316 (122.3%)
	20	7,475,209	2,801 (105.0%)	1,027 (104.7%)	2,243 (104.1%)	822 (103.9%)	1,865 (104.6%)	638 (101.7%)	298 (115.3%)
	21	<b>7,458,643</b>	<b>2,669 (100.0%)</b>	<b>980 (100.0%)</b>	<b>2,155 (100.0%)</b>	<b>792 (100.0%)</b>	<b>1,782 (100.0%)</b>	<b>628 (100.0%)</b>	<b>259 (100.0%)</b>
予測値	22	7,481,564	2,841 (106.5%)	1,040 (106.1%)	2,307 (107.0%)	845 (106.7%)	1,913 (107.3%)	638 (101.6%)	290 (112.2%)
	23	7,486,636	2,823 (105.8%)	1,033 (105.4%)	2,290 (106.3%)	838 (105.9%)	1,894 (106.2%)	648 (103.2%)	282 (108.9%)
	24	7,491,736	2,805 (105.1%)	1,026 (104.6%)	2,277 (105.6%)	833 (105.2%)	1,874 (105.1%)	658 (104.8%)	273 (105.5%)
	25	7,496,867	2,786 (104.4%)	1,018 (103.9%)	2,261 (104.9%)	826 (104.4%)	1,855 (104.1%)	668 (106.4%)	264 (102.1%)
	26	7,502,026	2,768 (103.7%)	1,011 (103.1%)	2,246 (104.2%)	820 (103.6%)	1,835 (103.0%)	678 (108.0%)	255 (98.8%)
	27	7,507,214	2,750 (103.1%)	1,004 (102.4%)	2,229 (103.4%)	813 (102.7%)	1,816 (101.9%)	688 (109.6%)	247 (95.4%)
	28	<b>7,500,286</b>	<b>2,732 (102.4%)</b>	<b>998 (101.8%)</b>	<b>2,215 (102.8%)</b>	<b>809 (102.2%)</b>	<b>1,797 (100.8%)</b>	<b>698 (111.2%)</b>	<b>238 (92.0%)</b>
	29	7,493,392	2,714 (101.7%)	992 (101.2%)	2,200 (102.1%)	804 (101.6%)	1,777 (99.7%)	708 (112.8%)	229 (88.7%)
	30	7,486,528	2,696 (101.0%)	987 (100.7%)	2,184 (101.4%)	799 (101.0%)	1,758 (98.6%)	718 (114.3%)	221 (85.3%)
	31	7,479,695	2,678 (100.3%)	981 (100.1%)	2,168 (100.6%)	794 (100.3%)	1,738 (97.5%)	728 (115.9%)	212 (81.9%)
	32	<b>7,472,895</b>	<b>2,660 (99.7%)</b>	<b>975 (99.5%)</b>	<b>2,153 (99.9%)</b>	<b>789 (99.7%)</b>	<b>1,719 (96.4%)</b>	<b>738 (117.5%)</b>	<b>203 (78.6%)</b>

注:「処理しなければならないごみの量」とは、「ごみ総排出量」から「資源ごみ量」及び「集団回収量」を除いた値をいう。

一般廃棄物将来予測 予測手法別 予測値比較グラフ



## 産業廃棄物に関する予測結果

### 1 単純推計による予測結果

異常年である平成21年度のデータを除外した上で業種別の製造品出荷額等の経年変化により予測を行ったところ、産業廃棄物の発生量は増加傾向を示し、平成28年度の発生量は23,413千トン(平成21年度から31.5%増加)、平成32年度の発生量は24,312千トン(同36.6%増加)と予測された。

処理状況については、発生量の増加に伴って、有償物量、再生利用量、最終処分量とも増加傾向を示した。

なお、減量化量、再生利用量及び最終処分量については、排出量に対する比率が21年度のまま将来にわたって変化しないものとして算出した。

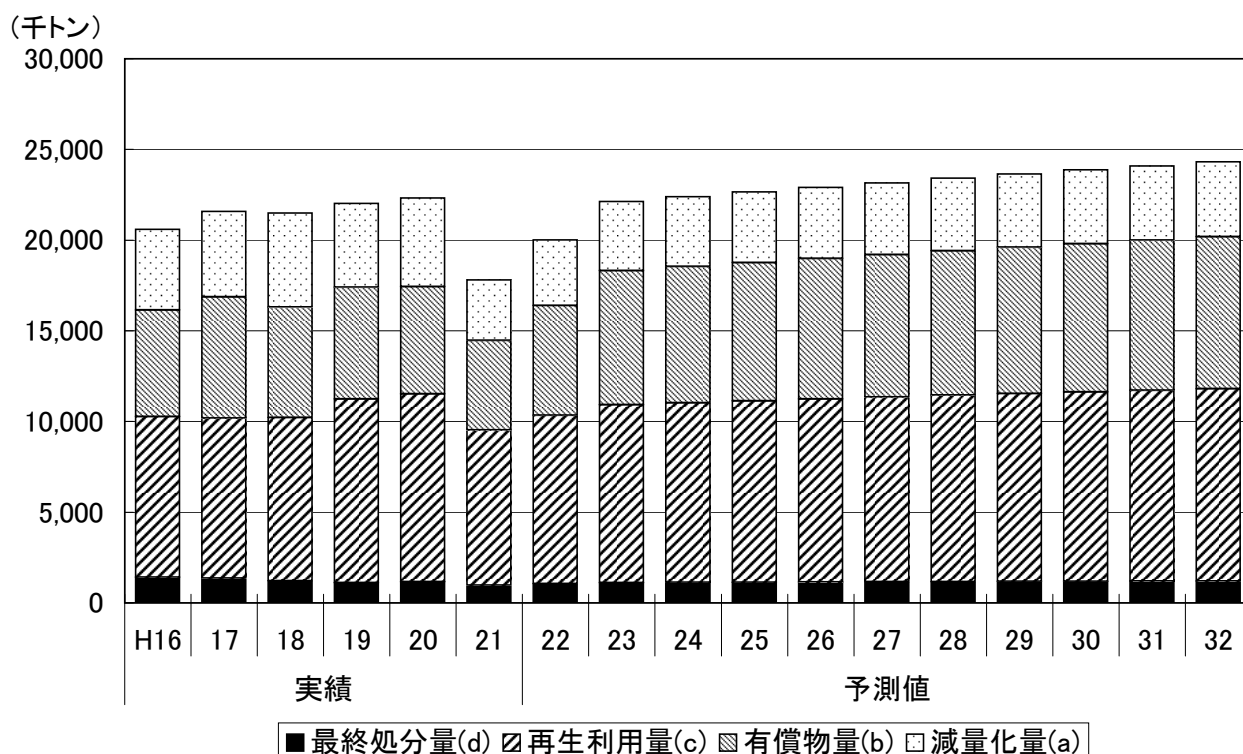


図 処理・処分量の将来予測(単純推計)

表 処理・処分量の将来予測(単純推計)

		単純推計							(単位 千トン)	
		発生量(a+b+c+d)	排出量(a+c+d)	資源化量(b+c)	減量化量(a)	有償物量(b)	再生利用量(c)	最終処分量(d)		
実績	H16	20,595 (115.7%)	14,723 (114.4%)	14,732 (109.1%)	4,442 (133.4%)	5,872 (119.0%)	8,860 (103.5%)	1,413 (145.4%)		
	17	21,594 (121.3%)	14,910 (115.9%)	15,505 (114.9%)	4,722 (141.8%)	6,684 (135.5%)	8,821 (103.0%)	1,360 (140.0%)		
	18	21,498 (120.8%)	15,417 (119.8%)	15,084 (111.8%)	5,196 (156.0%)	6,081 (123.2%)	9,003 (105.1%)	1,218 (125.3%)		
	19	22,016 (123.7%)	15,865 (123.3%)	16,297 (120.7%)	4,616 (138.6%)	6,151 (124.7%)	10,146 (118.5%)	1,103 (113.5%)		
	20	22,330 (125.4%)	16,418 (127.6%)	16,274 (120.6%)	4,894 (146.9%)	5,912 (119.8%)	10,362 (121.0%)	1,162 (119.6%)		
	21	<b>17,801 (100.0%)</b>	<b>12,867 (100.0%)</b>	<b>13,498 (100.0%)</b>	<b>3,331 (100.0%)</b>	<b>4,934 (100.0%)</b>	<b>8,564 (100.0%)</b>	<b>972 (100.0%)</b>		
予測値	22	20,012 (112.4%)	13,961 (108.5%)	15,342 (113.7%)	3,614 (108.5%)	6,051 (122.6%)	9,292 (108.5%)	1,054 (108.5%)		
	23	22,130 (124.3%)	14,730 (114.5%)	17,203 (127.5%)	3,813 (114.5%)	7,400 (150.0%)	9,803 (114.5%)	1,112 (114.5%)		
	24	22,394 (125.8%)	14,879 (115.6%)	17,418 (129.0%)	3,851 (115.6%)	7,515 (152.3%)	9,903 (115.6%)	1,124 (115.6%)		
	25	22,654 (127.3%)	15,026 (116.8%)	17,628 (130.6%)	3,890 (116.8%)	7,627 (154.6%)	10,001 (116.8%)	1,135 (116.8%)		
	26	22,910 (128.7%)	15,171 (117.9%)	17,836 (132.1%)	3,927 (117.9%)	7,739 (156.9%)	10,097 (117.9%)	1,146 (117.9%)		
	27	23,163 (130.1%)	15,313 (119.0%)	18,041 (133.7%)	3,964 (119.0%)	7,850 (159.1%)	10,191 (119.0%)	1,156 (119.0%)		
	28	<b>23,413 (131.5%)</b>	<b>15,453 (120.1%)</b>	<b>18,244 (135.2%)</b>	<b>4,000 (120.1%)</b>	<b>7,960 (161.3%)</b>	<b>10,284 (120.1%)</b>	<b>1,167 (120.1%)</b>		
	29	23,648 (132.8%)	15,579 (121.1%)	18,437 (136.6%)	4,033 (121.1%)	8,068 (163.5%)	10,369 (121.1%)	1,177 (121.1%)		
	30	23,872 (134.1%)	15,695 (122.0%)	18,622 (138.0%)	4,063 (122.0%)	8,177 (165.7%)	10,446 (122.0%)	1,185 (122.0%)		
	31	24,093 (135.3%)	15,809 (122.9%)	18,805 (139.3%)	4,092 (122.9%)	8,283 (167.9%)	10,522 (122.9%)	1,194 (122.9%)		
	32	<b>24,312 (136.6%)</b>	<b>15,923 (123.7%)</b>	<b>18,987 (140.7%)</b>	<b>4,122 (123.7%)</b>	<b>8,390 (170.0%)</b>	<b>10,597 (123.7%)</b>	<b>1,202 (123.7%)</b>		

## 2 事業者の取組を考慮した予測結果

単純推計に事業者の排出量削減の取組等を反映させた場合、産業廃棄物の発生量は全体としては平成21年度実績よりも多いレベルにあるものの減少傾向を示し、28年度の発生量は19,118千トン(21年度実績比7.4%増加)、平成32年度の発生量は18,643千トン(同4.7%増加)と予測された。

処理状況については、有償物量については増加傾向、再生利用量及び最終処分量については減少傾向を示した。

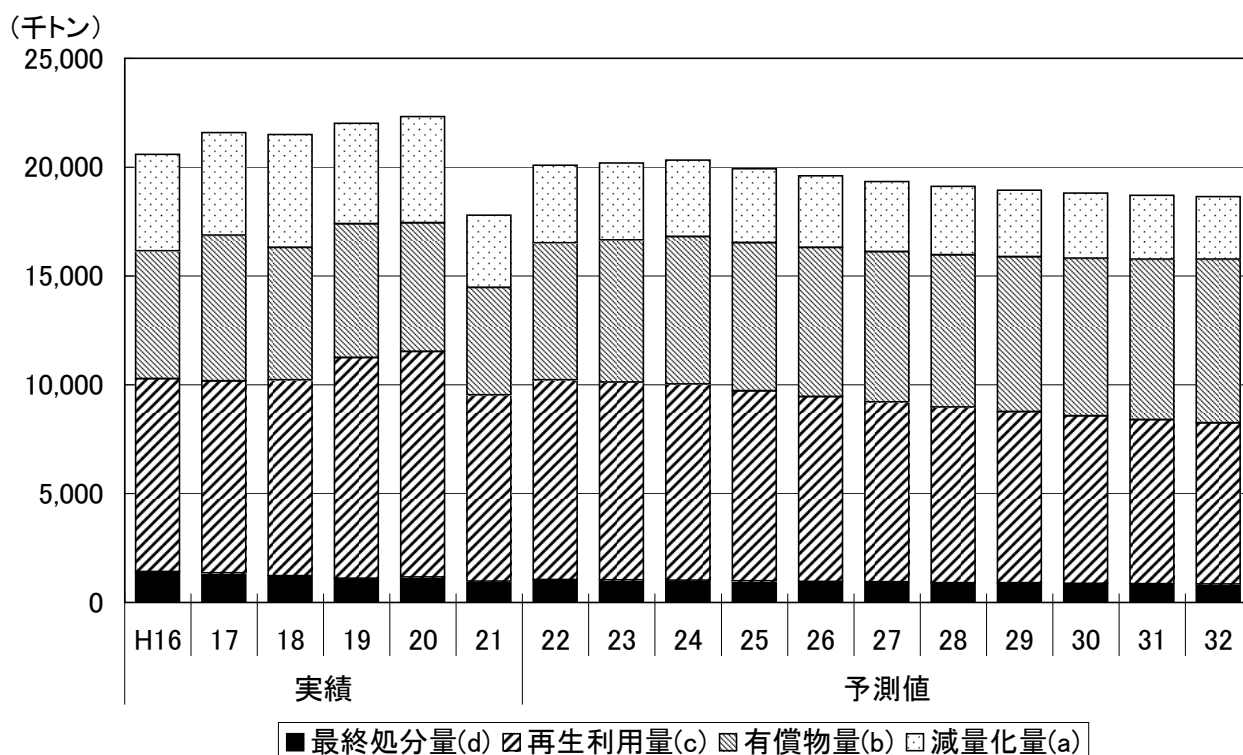


図 処理・処分量の将来予測(事業者の取組考慮)

表 処理・処分量の将来予測(事業者の取組考慮)

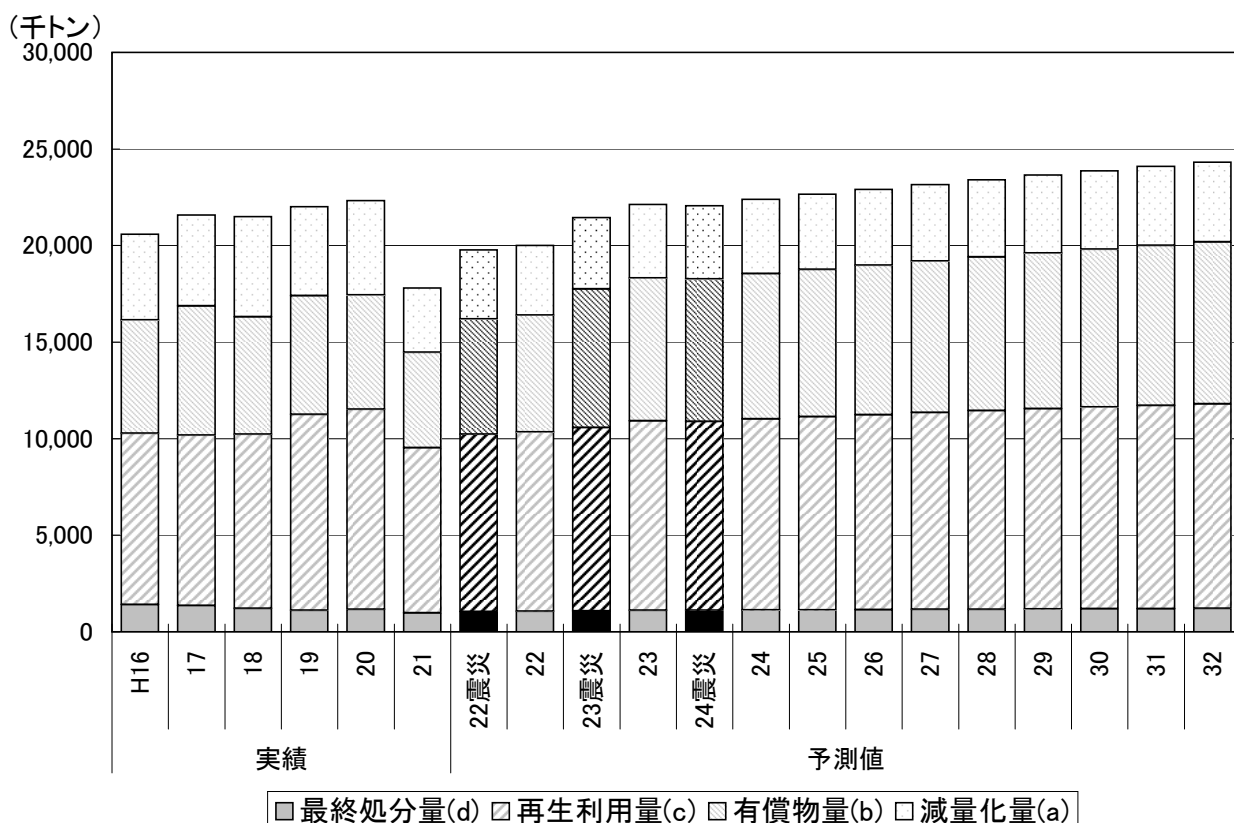
		事業者の取組を考慮した予測結果							(単位 千トン)
		発生量(a+b+c+d)	排出量(a+c+d)	資源化量(b+c)	減量化量(a)	有償物量(b)	再生利用量(c)	最終処分量(d)	
実績	H16	20,595 (115.7%)	14,723 (114.4%)	14,732 (109.1%)	4,442 (133.4%)	5,872 (119.0%)	8,860 (103.5%)	1,413 (145.4%)	
	17	21,594 (121.3%)	14,910 (115.9%)	15,505 (114.9%)	4,722 (141.8%)	6,684 (135.5%)	8,821 (103.0%)	1,360 (140.0%)	
	18	21,498 (120.8%)	15,417 (119.8%)	15,084 (111.8%)	5,196 (156.0%)	6,081 (123.2%)	9,003 (105.1%)	1,218 (125.3%)	
	19	22,016 (123.7%)	15,865 (123.3%)	16,297 (120.7%)	4,616 (138.6%)	6,151 (124.7%)	10,146 (118.5%)	1,103 (113.5%)	
	20	22,330 (125.4%)	16,418 (127.6%)	16,274 (120.6%)	4,894 (146.9%)	5,912 (119.8%)	10,362 (121.0%)	1,162 (119.6%)	
	21	<b>17,801 (100.0%)</b>	<b>12,867 (100.0%)</b>	<b>13,498 (100.0%)</b>	<b>3,331 (100.0%)</b>	<b>4,934 (100.0%)</b>	<b>8,564 (100.0%)</b>	<b>972 (100.0%)</b>	
予測値	22	20,085 (112.8%)	13,801 (107.3%)	15,470 (114.6%)	3,574 (107.3%)	6,284 (127.4%)	9,185 (107.3%)	1,040 (107.1%)	
	23	20,192 (113.4%)	13,662 (106.2%)	15,623 (115.7%)	3,538 (106.2%)	6,530 (132.3%)	9,093 (106.2%)	1,030 (106.0%)	
	24	20,319 (114.1%)	13,532 (105.2%)	15,794 (117.0%)	3,504 (105.2%)	6,787 (137.6%)	9,007 (105.2%)	1,020 (105.0%)	
	25	19,931 (112.0%)	13,125 (102.0%)	15,542 (115.1%)	3,399 (102.0%)	6,806 (137.9%)	8,736 (102.0%)	989 (101.8%)	
	26	19,607 (110.1%)	12,756 (99.1%)	15,341 (113.7%)	3,303 (99.2%)	6,851 (138.9%)	8,490 (99.1%)	961 (98.9%)	
	27	19,338 (108.6%)	12,419 (96.5%)	15,184 (112.5%)	3,216 (96.5%)	6,919 (140.2%)	8,266 (96.5%)	936 (96.3%)	
	28	<b>19,118 (107.4%)</b>	<b>12,111 (94.1%)</b>	<b>15,071 (111.7%)</b>	<b>3,143 (94.4%)</b>	<b>7,007 (142.0%)</b>	<b>8,064 (94.2%)</b>	<b>903 (92.9%)</b>	
	29	18,943 (106.4%)	11,831 (91.9%)	14,986 (111.0%)	3,064 (92.0%)	7,112 (144.1%)	7,875 (92.0%)	892 (91.8%)	
	30	18,808 (105.7%)	11,575 (90.0%)	14,937 (110.7%)	2,997 (90.0%)	7,232 (146.6%)	7,704 (90.0%)	873 (89.8%)	
	31	18,709 (105.1%)	11,342 (88.1%)	14,916 (110.5%)	2,937 (88.2%)	7,367 (149.3%)	7,549 (88.2%)	855 (88.0%)	
	32	<b>18,643 (104.7%)</b>	<b>11,129 (86.5%)</b>	<b>14,921 (110.5%)</b>	<b>2,882 (86.5%)</b>	<b>7,514 (152.3%)</b>	<b>7,408 (86.5%)</b>	<b>839 (86.3%)</b>	



### 3 震災影響を考慮した予測結果

単純推計に震災の影響による経済状況の変化を反映させた場合、産業廃棄物の発生量は22年度は19,772千トン(震災の影響により240千トン減少)、23年度は21,444千トン(同686千トン減少)、24年度は22,066千トン(同328千トン減少)と予測された。

処理状況については、発生量の減少に伴い、有償物量、再生利用量、最終処分量とも減少すると予測された。



■最終処分量(d) □再生利用量(c) □有償物量(b) □減量化量(a)

図 処理・処分量の将来予測(震災影響)

表 処理・処分量の将来予測(震災影響)

		震災影響を考慮した予測結果						
		発生量(a+b+c+d)	排出量(a+c+d)	資源化量(b+c)	減量化量(a)	有償物量(b)	再生利用量(c)	最終処分量(d)
実績	H16	20,595 (115.7%)	14,723 (114.4%)	14,732 (109.1%)	4,442 (133.4%)	5,872 (119.0%)	8,860 (103.5%)	1,413 (145.4%)
	17	21,594 (121.3%)	14,910 (115.9%)	15,505 (114.9%)	4,722 (141.8%)	6,684 (135.5%)	8,821 (103.0%)	1,360 (140.0%)
	18	21,498 (120.8%)	15,417 (119.8%)	15,084 (111.8%)	5,196 (156.0%)	6,081 (123.2%)	9,003 (105.1%)	1,218 (125.3%)
	19	22,016 (123.7%)	15,865 (123.3%)	16,297 (120.7%)	4,616 (138.6%)	6,151 (124.7%)	10,146 (118.5%)	1,103 (113.5%)
	20	22,330 (125.4%)	16,418 (127.6%)	16,274 (120.6%)	4,894 (146.9%)	5,912 (119.8%)	10,362 (121.0%)	1,162 (119.6%)
	21	17,801 (100.0%)	12,867 (100.0%)	13,498 (100.0%)	3,331 (100.0%)	4,934 (100.0%)	8,564 (100.0%)	972 (100.0%)
予測値	22震災	19,772 (111.1%)	13,794 (107.2%)	15,158 (112.3%)	3,571 (107.2%)	5,978 (121.2%)	9,180 (107.2%)	1,042 (107.2%)
	22	20,012 (112.4%)	13,961 (108.5%)	15,342 (113.7%)	3,614 (108.5%)	6,051 (122.6%)	9,292 (108.5%)	1,054 (108.5%)
	23震災	21,444 (120.5%)	14,273 (110.9%)	16,670 (123.5%)	3,695 (110.9%)	7,171 (145.3%)	9,499 (110.9%)	1,078 (110.9%)
	23	22,130 (124.3%)	14,730 (114.5%)	17,203 (127.5%)	3,813 (114.5%)	7,400 (150.0%)	9,803 (114.5%)	1,112 (114.5%)
	24震災	22,066 (124.0%)	14,687 (114.1%)	17,154 (127.1%)	3,802 (114.1%)	7,379 (149.6%)	9,775 (114.1%)	1,109 (114.1%)
	24	22,394 (125.8%)	14,879 (115.6%)	17,418 (129.0%)	3,851 (115.6%)	7,515 (152.3%)	9,903 (115.6%)	1,124 (115.6%)
	25	22,654 (127.3%)	15,026 (116.8%)	17,628 (130.6%)	3,890 (116.8%)	7,627 (154.6%)	10,001 (116.8%)	1,135 (116.8%)
	26	22,910 (128.7%)	15,171 (117.9%)	17,836 (132.1%)	3,927 (117.9%)	7,739 (156.9%)	10,097 (117.9%)	1,146 (117.9%)
	27	23,163 (130.1%)	15,313 (119.0%)	18,041 (133.7%)	3,964 (119.0%)	7,850 (159.1%)	10,191 (119.0%)	1,156 (119.0%)
	28	23,413 (131.5%)	15,453 (120.1%)	18,244 (135.2%)	4,000 (120.1%)	7,960 (161.3%)	10,284 (120.1%)	1,167 (120.1%)
	29	23,648 (132.8%)	15,579 (121.1%)	18,437 (136.6%)	4,033 (121.1%)	8,068 (163.5%)	10,369 (121.1%)	1,177 (121.1%)
	30	23,872 (134.1%)	15,695 (122.0%)	18,622 (138.0%)	4,063 (122.0%)	8,177 (165.7%)	10,446 (122.0%)	1,185 (122.0%)
31	24,093 (135.3%)	15,809 (122.9%)	18,805 (139.3%)	4,092 (122.9%)	8,283 (167.9%)	10,522 (122.9%)	1,194 (122.9%)	
32	24,312 (136.6%)	15,923 (123.7%)	18,987 (140.7%)	4,122 (123.7%)	8,390 (170.0%)	10,597 (123.7%)	1,202 (123.7%)	

#### 4 国の基本方針に基づく予測結果

国の基本方針に従って予測を行ったところ、産業廃棄物の発生量はわずかに増加傾向を示し、平成28年度の発生量は22,195千トン(平成21年度から24.7%増加)、平成32年度の発生量は22,274千トン(同25.1%増加)と予測された。

処理状況については、有償物量及び再生利用量は増加傾向、最終処分量は減少傾向を示すと予測された。

なお、国の基本方針では再生利用率目標値は約53%とされているが、県の再生利用率は21年度で66.6%で既に国の目標値を上回っていることから、本予測では、将来にわたって現在の再生利用率が維持されるものとした。

【参考】国の基本方針の目標値(平成27年度)

排出量	平成19年度比約1%増に抑制
再生利用率	排出量に対して約53%
最終処分量	平成19年度比約12%削減

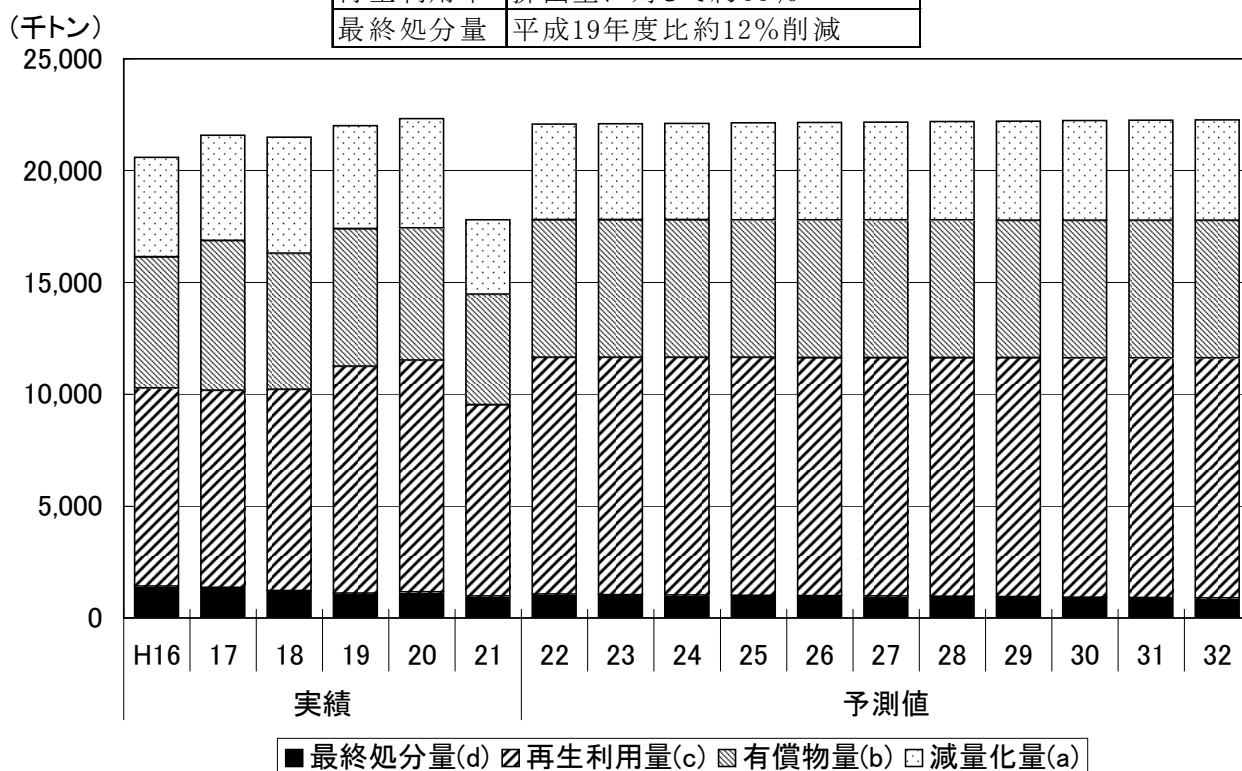


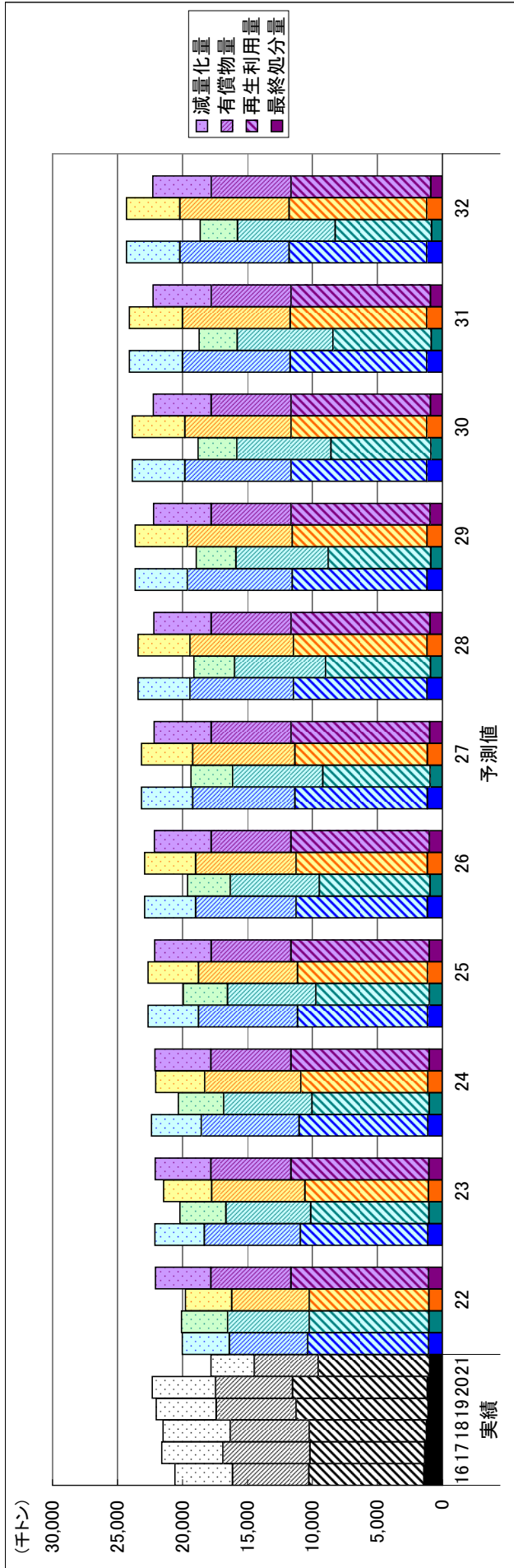
図 処理・処分量の将来予測(国の基本方針に基づく予測)

表 処理・処分量の将来予測(国の基本方針に基づく予測)

(単位 千トン)

		国の基本方針に基づく予測						
		発生量(a+b+c+d)	排出量(a+c+d)	資源化量(b+c)	減量化量(a)	有償物量(b)	再生利用量(c)	最終処分量(d)
実績	H16	20,595 (115.7%)	14,723 (114.4%)	14,732 (109.1%)	4,442 (133.4%)	5,872 (119.0%)	8,860 (103.5%)	1,413 (145.4%)
	17	21,594 (121.3%)	14,910 (115.9%)	15,505 (114.9%)	4,722 (141.8%)	6,684 (135.5%)	8,821 (103.0%)	1,360 (140.0%)
	18	21,498 (120.8%)	15,417 (119.8%)	15,084 (111.8%)	5,196 (156.0%)	6,081 (123.2%)	9,003 (105.1%)	1,218 (125.3%)
	19	22,016 (123.7%)	15,865 (123.3%)	16,297 (120.7%)	4,616 (138.6%)	6,151 (124.7%)	10,146 (118.5%)	1,103 (113.5%)
	20	22,330 (125.4%)	16,418 (127.6%)	16,274 (120.6%)	4,894 (146.9%)	5,912 (119.8%)	10,362 (121.0%)	1,162 (119.6%)
	21	<b>17,801 (100.0%)</b>	<b>12,867 (100.0%)</b>	<b>13,498 (100.0%)</b>	<b>3,331 (100.0%)</b>	<b>4,934 (100.0%)</b>	<b>8,564 (100.0%)</b>	<b>972 (100.0%)</b>
予測値	22	22,076 (124.0%)	15,925 (123.8%)	16,749 (124.1%)	4,272 (128.2%)	6,151 (124.7%)	10,598 (123.8%)	1,053 (108.4%)
	23	22,095 (124.1%)	15,944 (123.9%)	16,763 (124.2%)	4,295 (128.9%)	6,151 (124.7%)	10,612 (123.9%)	1,037 (106.7%)
	24	22,115 (124.2%)	15,964 (124.1%)	16,776 (124.3%)	4,318 (129.6%)	6,151 (124.7%)	10,625 (124.1%)	1,020 (105.0%)
	25	22,135 (124.3%)	15,984 (124.2%)	16,789 (124.4%)	4,341 (130.3%)	6,151 (124.7%)	10,638 (124.2%)	1,004 (103.3%)
	26	22,155 (124.5%)	16,004 (124.4%)	16,802 (124.5%)	4,364 (131.0%)	6,151 (124.7%)	10,651 (124.4%)	987 (101.6%)
	27	22,175 (124.6%)	16,024 (124.5%)	16,815 (124.6%)	4,388 (131.7%)	6,151 (124.7%)	10,664 (124.5%)	971 (99.9%)
	28	<b>22,195 (124.7%)</b>	<b>16,044 (124.7%)</b>	<b>16,829 (124.7%)</b>	<b>4,411 (132.4%)</b>	<b>6,151 (124.7%)</b>	<b>10,678 (124.7%)</b>	<b>954 (98.2%)</b>
	29	22,214 (124.8%)	16,063 (124.8%)	16,842 (124.8%)	4,434 (133.1%)	6,151 (124.7%)	10,691 (124.8%)	938 (96.5%)
	30	22,234 (124.9%)	16,083 (125.0%)	16,855 (124.9%)	4,457 (133.8%)	6,151 (124.7%)	10,704 (125.0%)	921 (94.8%)
	31	22,254 (125.0%)	16,103 (125.1%)	16,868 (125.0%)	4,480 (134.5%)	6,151 (124.7%)	10,717 (125.1%)	904 (93.1%)
	32	<b>22,274 (125.1%)</b>	<b>16,123 (125.3%)</b>	<b>16,881 (125.1%)</b>	<b>4,503 (135.2%)</b>	<b>6,151 (124.7%)</b>	<b>10,730 (125.3%)</b>	<b>888 (91.4%)</b>

# 産業廃棄物将来予測 予測手法別予測値比較グラフ



	単結核推計				事業者の取組				震災影響				国の基本方針			
	減量化量	有償物量	再生利用量	最終処分量	減量化量	有償物量	再生利用量	最終処分量	減量化量	有償物量	再生利用量	最終処分量	減量化量	有償物量	再生利用量	最終処分量
16	4,442	5,872	8,860	1,413	4,442	5,872	8,860	1,413	4,442	5,872	8,860	1,413	4,442	5,872	8,860	1,413
17	4,722	6,684	8,821	1,360	4,722	6,684	8,821	1,360	4,722	6,684	8,821	1,360	4,722	6,684	8,821	1,360
18	5,196	6,081	9,003	1,218	5,196	6,081	9,003	1,218	5,196	6,081	9,003	1,218	5,196	6,081	9,003	1,218
19	4,616	6,151	10,146	1,103	4,616	6,151	10,146	1,103	4,616	6,151	10,146	1,103	4,616	6,151	10,146	1,103
20	4,894	5,912	10,362	1,162	4,894	5,912	10,362	1,162	4,894	5,912	10,362	1,162	4,894	5,912	10,362	1,162
21	3,331	4,934	8,564	972	3,331	4,934	8,564	972	3,331	4,934	8,564	972	3,331	4,934	8,564	972
22	3,614	6,051	9,292	1,054	3,574	6,284	9,185	1,040	3,571	5,978	9,180	1,042	4,272	6,151	10,598	1,053
23	3,813	7,400	9,803	1,112	3,538	6,530	9,093	1,030	3,695	7,171	9,499	1,078	4,295	6,151	10,612	1,037
24	3,851	7,515	9,903	1,124	3,504	6,787	9,007	1,020	3,802	7,379	9,775	1,109	4,318	6,151	10,625	1,020
25	3,890	7,627	10,001	1,135	3,399	6,806	8,736	989	3,890	7,627	10,001	1,135	4,341	6,151	10,638	1,004
26	3,927	7,739	10,097	1,146	3,303	6,851	8,490	961	3,927	7,739	10,097	1,146	4,364	6,151	10,651	987
27	3,964	7,850	10,191	1,156	3,216	6,919	8,266	936	3,964	7,850	10,191	1,156	4,388	6,151	10,664	971
28	4,000	7,960	10,284	1,167	3,143	7,007	8,064	903	4,000	7,960	10,284	1,167	4,411	6,151	10,678	954
29	4,033	8,068	10,369	1,177	3,064	7,112	7,875	892	4,033	8,068	10,369	1,177	4,434	6,151	10,691	938
30	4,063	8,177	10,446	1,185	2,997	7,232	7,704	873	4,063	8,177	10,446	1,185	4,457	6,151	10,704	921
31	4,092	8,283	10,522	1,194	2,937	7,367	7,549	855	4,092	8,283	10,522	1,194	4,480	6,151	10,717	904
32	4,122	8,390	10,597	1,202	2,882	7,514	7,408	839	4,122	8,390	10,597	1,202	4,503	6,151	10,730	888

### 一般廃棄物排出量予測結果一覧

単位：千トン

	排出量		処理しなければならぬごみの量		減量化量	再生利用量	再生利用率 (排出量比)	最終処分量	H16比削減率
	一人一日あたり	一人一日あたり	一人一日あたり	一人一日あたり					
H16実績	2,926	1,117	2,392	913	1,939	616	(21.1%)	371	(0.0%)
処理計画目標(H23)	—	—	—	720	—	—	約29%	—	約21%
H21実績	2,669	980	2,155	792	1,782	628	(23.5%)	259	(30.3%)
1 単純推計	2,602	951	2,085	762	1,744	604	(23.2%)	255	(31.4%)
2 市町村処理計画	2,908	1,062	2,330	851	1,849	813	(28.0%)	246	(33.8%)
3 国基本方針	2,732	998	2,215	809	1,797	698	(25.5%)	238	(35.8%)

注) 推計値については平成28年度の値を記載した。

### 産業廃棄物排出量予測結果一覧

単位：千トン

	発生量	排出量	資源化量	有償物量	減量化量	再生利用量	再生利用率 (排出量比)	最終処分量	H16比削減率
処理計画目標(H23)	—	—	—	—	—	—	約60%	—	約21%
H21実績	17,801	12,867	13,498	4,934	3,331	8,564	(66.6%)	972	(31.2%)
1 単純推計	23,413	15,453	18,244	7,960	4,000	10,284	(66.6%)	1,167	(17.4%)
2 事業者取組	19,118	12,111	15,071	7,007	3,143	8,064	(66.6%)	903	(36.1%)
3 震災影響	23,413	15,453	18,244	7,960	4,000	10,284	(66.6%)	1,167	(17.4%)
4 国基本方針	22,195	16,044	16,829	6,151	4,411	10,678	(66.6%)	954	(32.5%)

注) 推計値については平成28年度の値を記載した。